

ホ ー ル

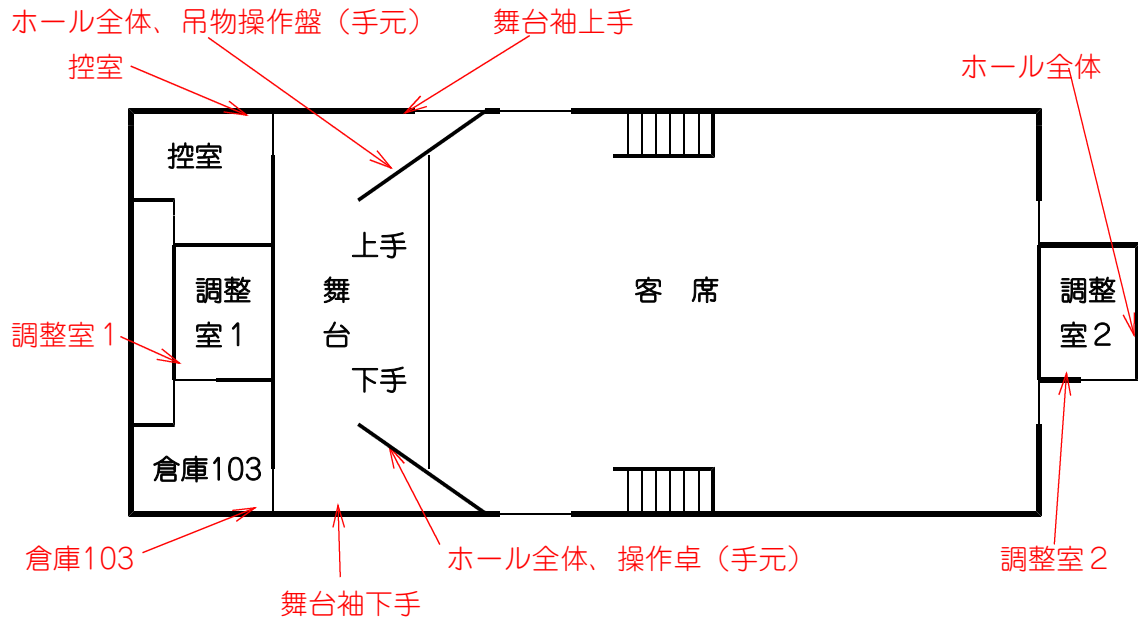
設 備 操 作 マ ニ ュ ア ル

徳島県立総合教育センター

< 目 次 >

1. 位置図	2
2. 起動方法（ホール主電源）	2
3. 映像機器の操作方法	3
4. 舞台装置の操作方法	6
5. 音響機器の操作方法	7
6. 舞台正面カメラ（舞台撮影用カメラ）の操作方法	9
7. 書画カメラの操作方法	10
8. 終了方法	11

1. 位置図 (赤字：照明スイッチ)



2. 起動方法 (ホール主電源)

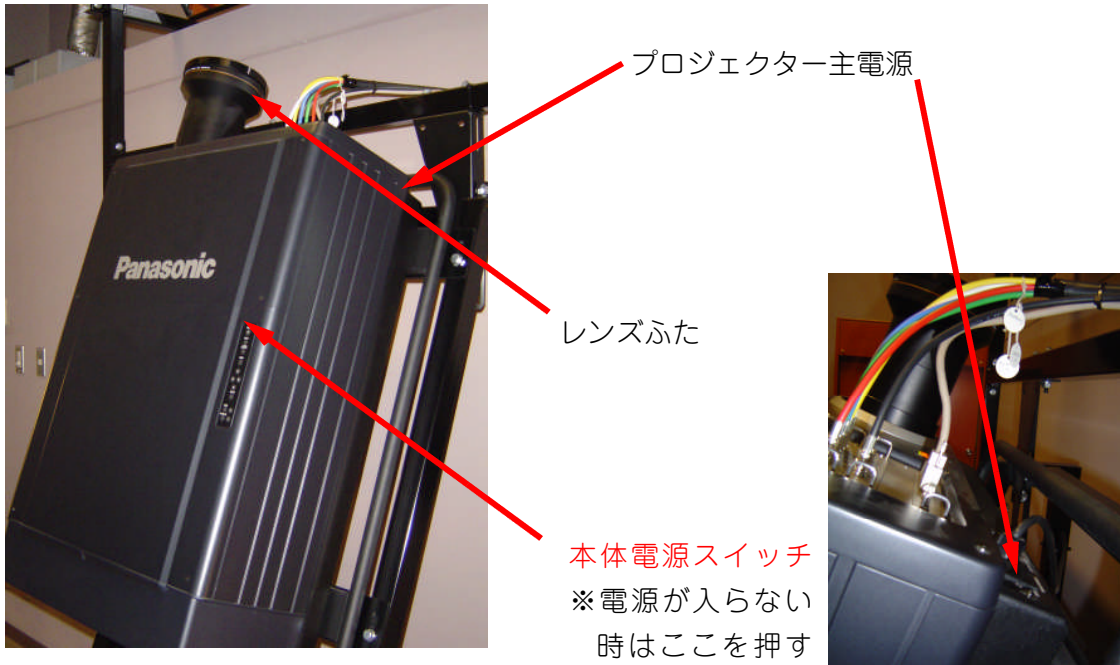
- ① 一番最初に、ホール全体の主電源 (倉庫103にある「制御用PC」の電源) を投入します。



3. 映像機器を使用する場合

① プロジェクター（大型映像装置）を使用する場合は、調整室1のプロジェクターの主電源を投入し、レンズのふたを外します。

主電源はプロジェクター本体上部のレンズ横にあります。



プロジェクター

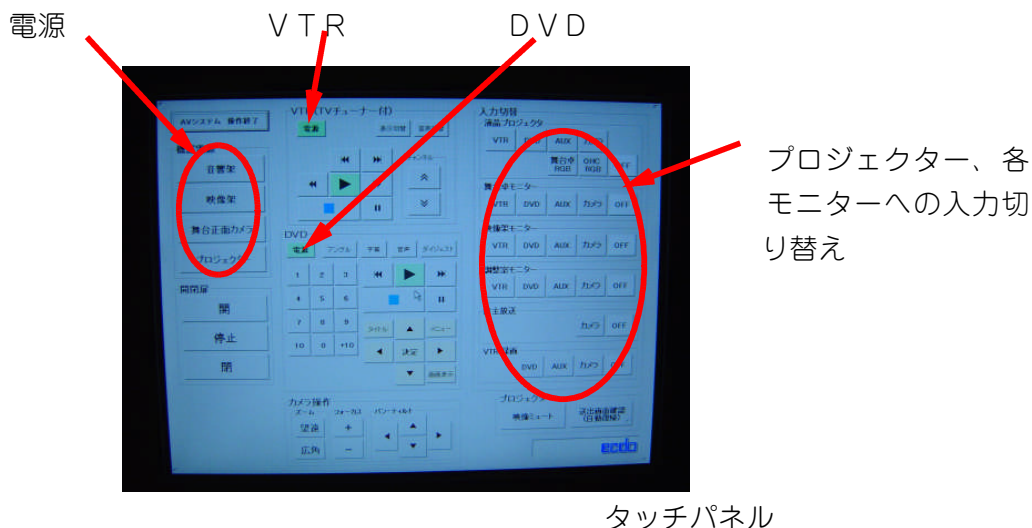
② 舞台袖の下手にある操作卓の電源を投入すると、タッチパネル画面が表示されます。



舞台袖 下手 操作卓

電源

- ④ タッチパネル画面を操作し、音響架、映像（送出）架、プロジェクター（大型映像装置）のうち、必要な機器の電源を投入してください。



※注意！

タッチパネル画面が動かないときは、操作卓の電源をON/OFFしてください。また、プロジェクターがタッチパネルから作動しないときは、プロジェクター本体の電源を投入してみてください。

本体電源スイッチ



- ⑤ VTR（S-VHSビデオデッキ）、DVDプレーヤーはタッチパネルから電源の投入、再生、停止などの操作ができます。なお、VTR、DVDの本体は倉庫103の映像（送出）架にあります。

※ 舞台正面カメラは、この操作卓から電源の投入はできますが、ズーム・パンなどの操作ができません。カメラは、調整室2のタッチパネルから操作してください。（現在故障中、操作はできません）

- ⑥ プロジェクターや各モニターへの入力の切り替えもタッチパネルから行います。

※注意！

プロジェクターは電源を投入してから約3分間ウォームアップを行い、電源操作を受け付けなくなります。（電源を投入してから20秒で映像投影は可能になります）また、いったん電源を切ると、クーリング操作に約5分かかり、その間も電源操作を受け付けません。

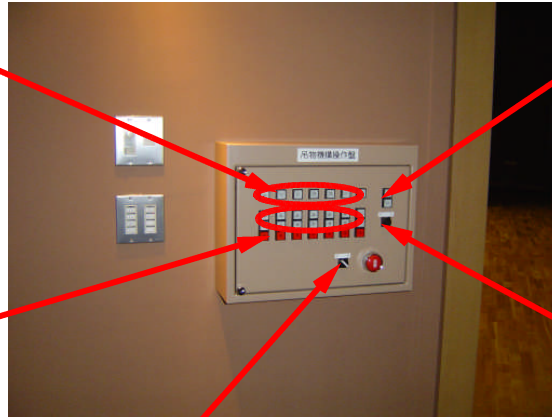
- ⑦ 音声を出すためには、調整室2の音響調整卓を操作する必要があります。「5. 音響機器の操作方法」を参照し、音響調整卓からスピーカーに流す音量等を設定してください。

4. 舞台装置（緞帳、開閉扉〔プロジェクター用〕、ボタン等）の操作方法

- ① 企画総務課で鍵を貸し出しますので、**舞台上手**の吊物機構操作盤に鍵を差し込んで舞台装置を操作してください。

(3)利用する機器
を選択し、下の
スイッチで昇降
（開閉）してく
ださい。

途中で停止させる
場合は、**S**を押
します。



(2)電源を投入してく
ださい。

(1)鍵を差し、回し
てください。

主：舞台上手（この吊物機構操作盤）

副：舞台下手の操作卓下にある吊物機構操作盤

- ② **舞台下手**の操作卓下にある吊物機構操作盤を利用するためには、**舞台上手**の吊物機構操作盤から電源を投入し、つまみを副に切り替えてください。

- ③ タッチパネルにある開閉扉（プロジェクター用）は、吊物機構操作盤のつまみを副に切り替えた状態で、操作卓下の開閉扉の電源を入れた状態にすると操作できます。

(1)開閉扉の電源を
投入してください。



(2)タッチパネルか
ら操作してくださ
い。

舞台下手操作卓

注意 舞台装置は、周辺や吊物の下方に人がいないことを確認し、安全に留意して、利用者の責任において操作してください。

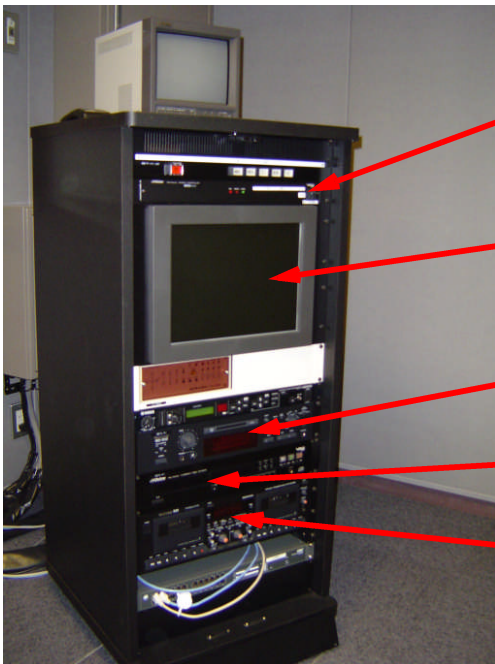
5. 音響機器の操作方法

- ① 音響調整卓の電源を投入してください。電源スイッチは調整卓の右手裏にあります。



電源（裏側）

- ② 周辺機器ワゴンの電源を投入します。タッチパネル画面が表示されます。



電源

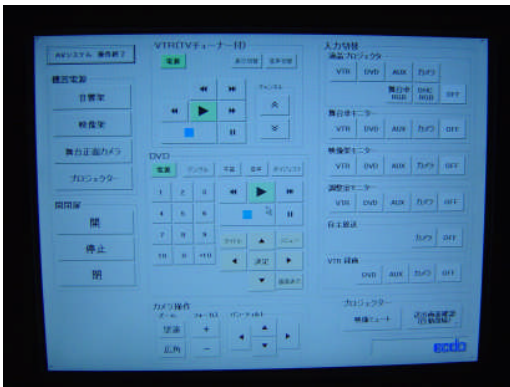
タッチパネル

MDプレーヤー

CDプレーヤー

カセットデッキ

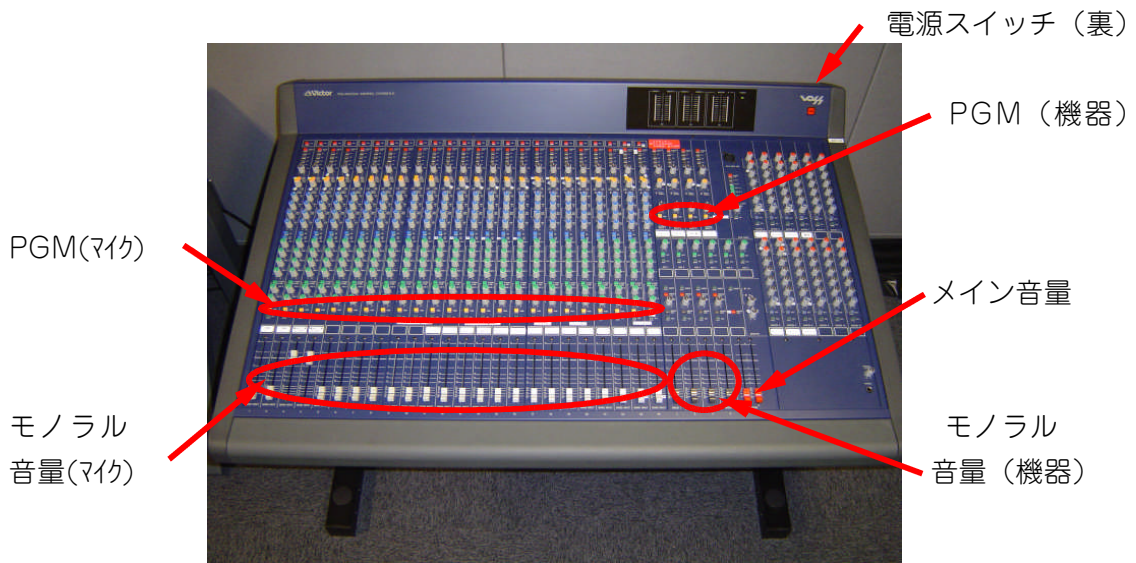
周辺機器ワゴン



④ タッチパネルから音響架の電源を投入してください。(舞台下手操作卓からすでに電源を投入している場合は、再度入れる必要はありません)

⑤ 音響調整卓のメイン音量（赤いスライド式レバー）を上げてゆっくりと0の位置にします。

⑥ 使用チャンネルの**PGM（黄色のボタン）**をON（押し下げた状態）にして、使用するマイク、機器のモノラル音量を上げてください。



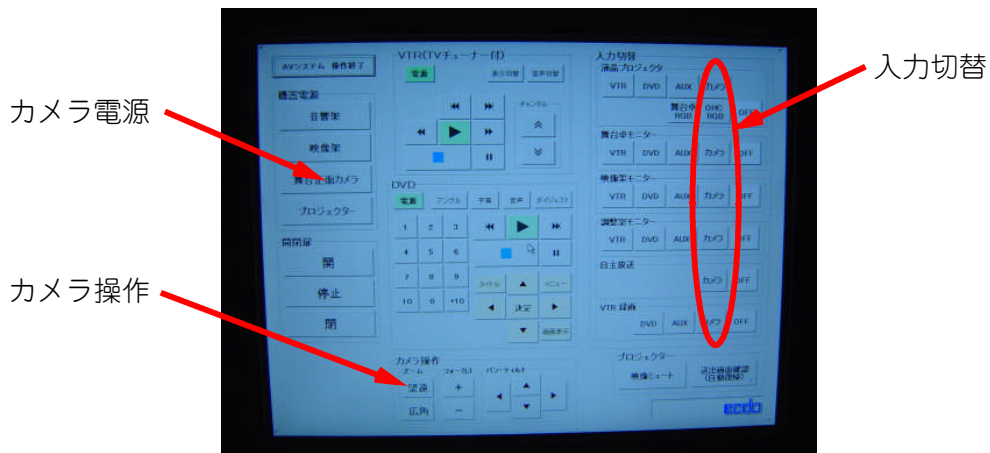
音響調整卓

⑦ 周辺機器ワゴンから各音響機器（CD、MD、カセットデッキ）を操作してください。

6. 舞台正面カメラ（舞台撮影用カメラ）の操作方法

※ 現在故障中です。カメラの操作はできません。

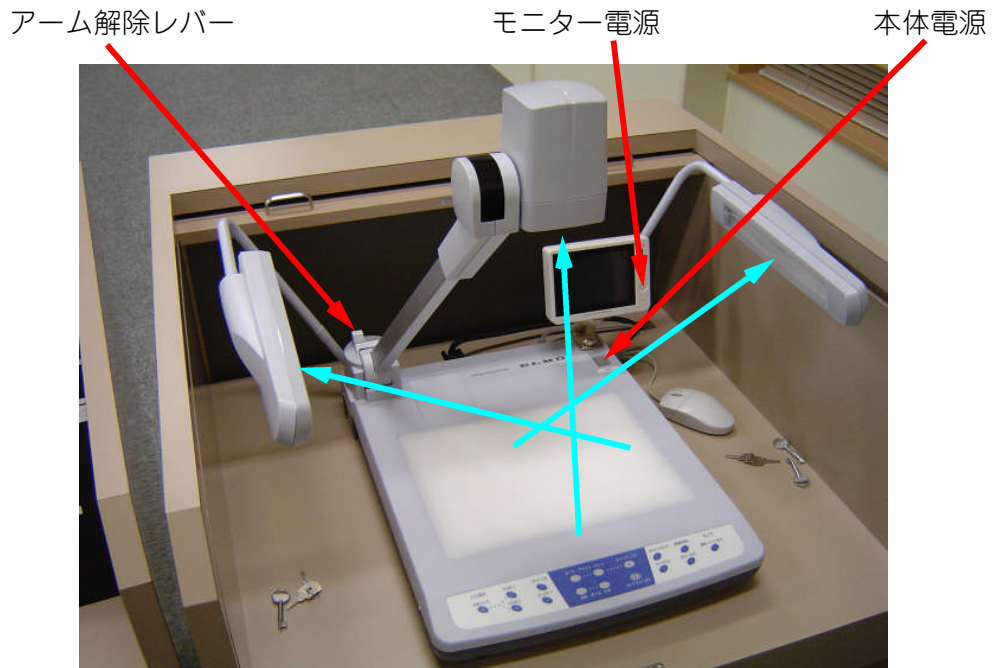
- ① タッチパネルからカメラの電源を投入してください。
- ② 入力切替で、映像を投影するプロジェクター、各モニターを選択してください。
- ③ 舞台正面カメラは、**調整室2**のタッチパネルから操作してください。（電源の投入、プロジェクターや各モニターへの入力切替は舞台袖のタッチパネルからでも操作できますが、カメラ操作〔ズームやパン等〕は**調整室2**からのみ操作可能です。）



- ④ 大研修室、研修室1へ舞台正面カメラで撮影した映像を流すときは、まず自主放送をカメラに切り替えてください。テレビ共聴の7チャンネル（表示：30チャンネル）に映像・音声流れますので、研修室のVTRからチャンネルを切り替えてください。

7. 書画カメラの操作方法

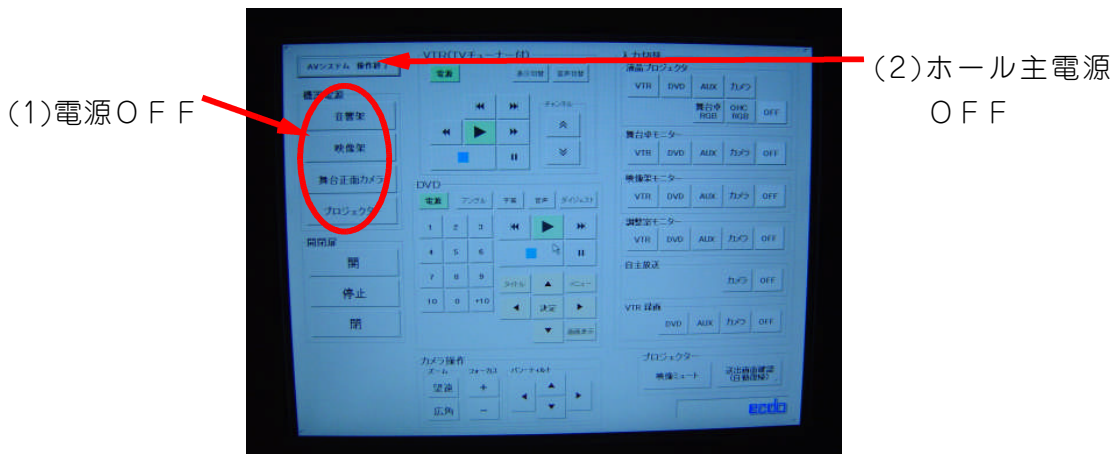
- ① アーム解除レバーを押しながら、カメラ部分を起こします。また、ライトを起こします。
- ② 書画カメラ本体の電源を投入します。
- ③ 書画カメラ付属のモニターの電源を投入します。



- ④ モニターを見ながら、カメラの角度及び画質等を調整してください。
- ⑤ タッチパネルで入力をOHC RGBに切り替えてプロジェクターに投影してください。

8. 終了方法

- ① タッチパネルを操作して、音響架、映像架、舞台正面カメラ、プロジェクターの電源を切ってください。プロジェクターを終了させる場合は、クーリング動作に5分程度かかります。
- ② それぞれの機器が終了したら、AVシステム操作終了を押してホール全体の主電源を切ってください。ただし、**プロジェクターのクーリング動作中にホール主電源を切ることがないように注意してください。**



- ③ ホール主電源が切れたことを確認したら、操作卓（舞台下手）、周辺機器ワゴン（調整室2）の電源を切ってください。また、音響調整卓（調整室2）の音量を下げ、右手裏にある電源を切ってください。



電源OFF



(裏側)

- ④ プロジェクターの主電源を切り、レンズのふたをしてください。



- ⑤ 使用した吊物等を元の位置まで戻してください。プロジェクター用の開閉扉は閉めてください。

吊物機構操作盤で使用した機器の電源をOFF（ランプが消えた状態）にし、鍵を回して抜いてください。